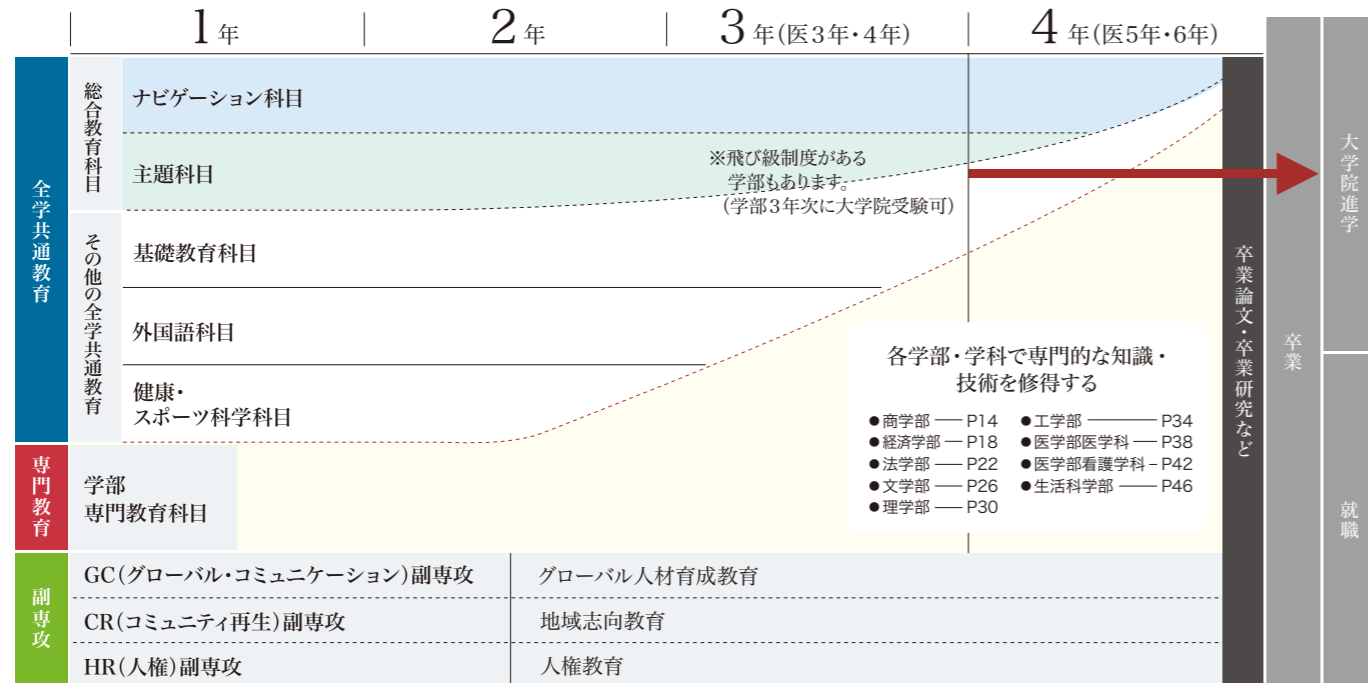


大阪市大での学び

都市型総合大学の強みを生かし、幅広い知識・教養を身に付けられる科目群を設けています。

4年間の履修の流れ



PICK UP 全学共通教育

大阪市大でどう学ぶか

大学とは何か、そこで学ぶ意義は何か、また自分がこれから学ぶ市大がどんな大学なのかを知り、そこで何をどう学び、どう人生をデザインし、どういう人間になり、そしてどのように社会に貢献していきたいかを考えていきます。



大阪の知

大阪という地域にアイデンティティを抱きながら世界で活躍できる人材の育成を目指し、本学教員だけでなく、国内外で広く活躍している卒業生や企業人にも授業を担当してもらいます。最先端の国際情勢、経済社会状況、テクノロジー、文化などについて知識を深め、大阪という地域をより深く理解し、グローバルな社会における生き方を考えていきます。



初年次セミナー

1年生が大学で学ぶにあたって、まず身に付けておくのが望ましい、学び・考えるためのマナーを習得します。異なる学部の学生との議論を通じて興味・関心の幅を広げたり、設定した課題・問題について学生自身が調査等を行ったりするなど、少人数のクラス編成でアクティブラーニングを行います。



その他の全学共通教育

基礎教育科目	外国語科目	健康・スポーツ科学科目
数学、物理学、化学、生物学、地球学、図形科学、共通基礎	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、朝鮮語、日本語	健康・スポーツ科学講義、健康・スポーツ科学実習

ナビゲーション科目

学生一人ひとりが、大学において、あるいは市民として自分は何のために何をどのように学んでいくかを考える科目群。大学・学問世界とはどのようなところかを知り、学問の歴史や未来への広がりや多様性に触れることを目的とします。

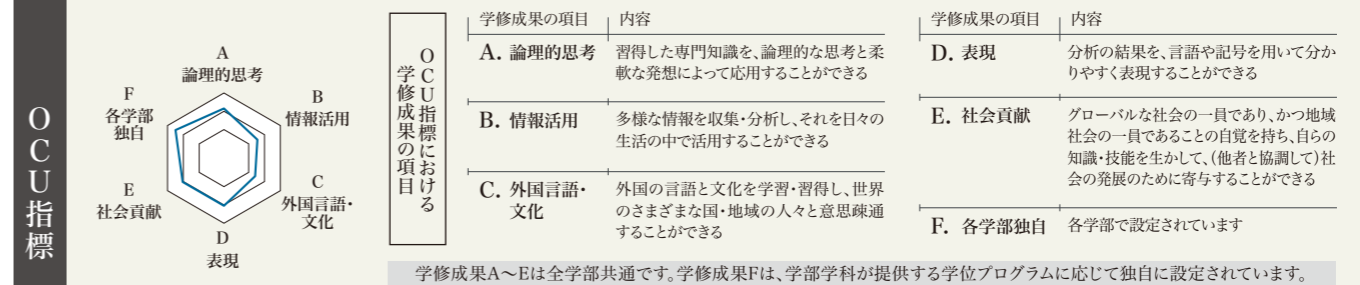
<h3>キャリア・学習デザイン科目 12科目</h3> <p>大学はどのようなところかを知り、大学で学んでいくための姿勢とスキルの習得を図り、人生の目標や卒業後のキャリアパスを見据えながら大学での学びをデザインすることを促します。特に上回生向け科目では、職業世界や職業選択についてのより具体的な理解の向上も図ります。</p>	<h3>リベラルアーツ科目 28科目</h3> <p>多様な学問分野に触れることによって、学部で学ぶ専門知識とは別に、自立した市民としての知性と教養を生涯にわたり涵養していくための基礎を築きます。</p>
--	--

主題科目

現代的かつ普遍的なテーマについて多様な側面から総合的に理解し、問題の解決方法を見出す能力を醸成する科目群。各主題について多様な学問領域の科目を複数配置し学際性を高めます。

<h3>環境・都市と生命 24科目</h3> <ul style="list-style-type: none"> 環境と健康 地域実践演習 戦争と人間 現代の医療 	<h3>人間と社会 43科目</h3> <ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法 現代社会と健康 ジェンダーと現代社会 教育と発達心理学 	<h3>歴史と文化 32科目</h3> <ul style="list-style-type: none"> 日本社会の歴史 アーツマネジメント 英語で学ぶ日本事情 大阪落語への招待 	<h3>自然と情報 15科目</h3> <ul style="list-style-type: none"> 科学と社会 植物と人間(演習) 情報基礎 プログラミング入門 	<h3>ソーシャルイノベーション 6科目</h3> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション概論 芸術とイノベーション 国際協働演習 ソーシャルイノベーション入門
--	--	---	---	---

学生の皆さん一人ひとりが、大学で何をどのように学んだのか(学修成果)を一覧できるように、本学ではOCU指標を開発しました。総合大学ならではの多様な学びを視覚化できるように、学修成果を下表の6つの項目に分けて数値化し、六角形のレーダーチャートの形で表示します。



OCU指標は、習得する科目(単位取得)が増えるごとに累積されます。毎学期のレーダーチャートの変化を見ることで、自分自身の学修成果の状況をその都度知ることができます。また、各自将来のキャリアを考えて、伸ばすべき学修成果の項目を決め、次にどの科目を履修するかを考える手助けになります。OCU指標の六角形の形に正解や優劣はありません。所属する学部の特色や希望するキャリアによって、六角形は多様になります。また各自のOCU指標を使った学修相談を、OCUラーニングセンター(P67参照)で受けることができます。

教職課程

本学は、これまで関西圏を中心とした高等学校、中学校に数多くの教員を輩出してきました。教職教養はもちろん、研究型大学として教科専門性を深く追求できる教員を養成しています。学生一人ひとりの教職関連科目の履修状況と学修状況を確認し面談を行う「教職履修カルテ面接」、教員採用選考試験に向けた「模擬面接対策」など、入学から教員として働くまでの間にきめ細やかなプログラムが用意されています。